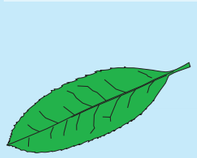
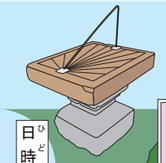
しおがまさま 境内案内図

『海国兵談』の著者として知られる林子平（はやし・しへい）が長崎で得た知識をもとに設計したとされ、鹽竈神社の神官で子平の親友であった藤塚知明（ふじつか・ともあき）が寛政４（1792）年に奉納しました。境内のものは模造品で、実物は博物館に展示しています。

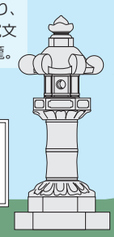




日時計

モチノキ科の常緑樹で、静岡県以西に自生します。宮城県が植栽して大木となる北限にあたります。
葉をに力を加えると黒く変色し、文字や絵を書くこともできます。でも、木から葉っぱを取らないでね。

塩竈湾と七北田川河口をむすぶ運河（「御舟入堀」）の完成にあたり、工事を指揮した和田房長により寛文３年（1663）に奉納された石灯籠。



石灯籠

文治３（1187）年に和泉三郎忠衡（藤原秀衡の三男）が寄進したとされる鉄塔。松尾芭蕉の『おくのほそ道』にも登場。周囲の石の囲いは、享和３（1803）年に設置されたもので、石柱には俳句が刻まれています。

文治燈籠

東北鎮護・奥州一宮
鹽竈神社

右宮本殿　左宮本殿　タラヨウ　御待殿　左右宮拝殿　別宮拝殿　別宮本殿　本殿　拝殿　志波彦神社（延喜式内名神大社）

いぼを取ってくれるという「イボガミサマ」の信仰があります。

社務所は、志波彦神社の造営にあわせて現在地に移築・新築され、現在まで増改築を重ねています。主要部分は、近代の和風建築として高く評価されています。

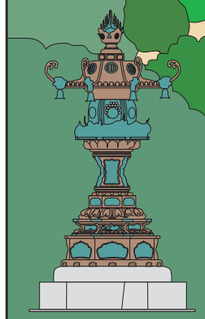
ご参拝の皆様へのお願い
■境内建造物への落書や千社札の貼り付けはしないでください。
■山林や柵内など、立ち入り禁止区域へは入らないでください。
■鳥居より先へのペットを連れての立ち入りは御遠慮下さい。

第２講堂　第２駐車場　大講堂　社務所　貴賓館　車祓所　文庫　御製碑　神苑　第１駐車場　トイレ　茶屋　手水舎　祓所　蝋梅　トイレ　鹽竈神社博物館　芭蕉の碑　亦無岡　神龍社　古神符納所　手水舎　トイレ　東参道（裏坂）　七曲坂　勝画楼→

「勝画楼」は、江戸時代に鹽竈神社に付属した法運寺（ほうれんじ）の一部で、藩主が参詣する際の休憩所などに用いられました。（現在は、補修工事により立ち入りできません。）

トイレ　文化燈籠　末社　老杉　門・廻廊　随身門　綱村公顕彰碑　東神門　祭務所　舞殿　絵馬殿　馬場

樹高 31 メートル、胸高周囲 6．1 メートルの杉の大木で、樹齢 600 年と推定されています。



狛犬　鹽竈ザクラ

馬場では、毎年７月第２日曜日に流鏑馬神事が執り行われます。

知識人として広く名を知られた江戸時代の神職・藤塚知明（ふじつか・ともあき）の屋敷があったところ。多くの知識人が訪れました。現在は博物館があります。

仙台藩が幕府の命令により北海道の警備を行ったさい、鹽竈神社に無事を祈願しました。この燈籠は、警備の無事遂行を感謝して、文化 6（1809）年に 9 代藩主・伊達周宗公によって奉納されたもので、装飾が見事です。レリーフには、いろいろな動物がいますよ。

長明燈

鹽竈神社の狛犬のなかでも、延享４（1747）年奉納の一対は、ずんぐりした特徴のあるスタイルで有名。

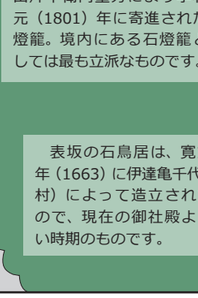
古くから著名な品種で、この場所以外にも境内にある 27 株が天然記念物。鹽竈神社の御社紋も鹽竈ザクラです。花の見頃は４月の下旬。鹽竈神社では、５月１０日を「鹽竈ザクラの日」と定めて生長を願う祈願祭が斎行されています。

表参道（表坂）

表参道は、202 段の急な石段。足元に注意。年３回の「氏子祭」では、重さ約１トンの大神輿が渡御します。
○帆手祭（３月 10 日）
○花まつり（４月第４日曜日）
○みなと祭（７月海の日）

仙台藩の財政に深く関わった大阪の豪商・升屋の山片平衛門重芳により享和元（1801）年に寄進された燈籠。境内にある石燈籠としては最も立派なものです。

表坂の石鳥居は、寛文 3 年（1663）に伊達亀千代（綱村）によって造立されたもので、現在の御社殿より早い時期のものです。



石鳥居

■指定文化財について、以下のように示しました。
- 国指定重要文化財・記念物
- 宮城県指定文化財・記念物
- 塩竈市指定文化財・記念物

◆志波彦神社（しわひこじんじゃ）

◇御祭神：志波彦神（しわひこのかみ）　◇御神徳：農業守護、国土開発、殖産興業　◇例祭日：３月２９日

志波彦神（しわひこのかみ）は、鹽竈さまと共に当地を治められた神様です。『延喜式』にも記載される高い格式を持つお社で、明治４（1871）年に国幣中社に列格しました。明治７（1874）年に岩切（現仙台市宮城野区）より鹽竈神社に遷祀し、昭和 13 年に現在の社殿が竣工して御遷座されました。

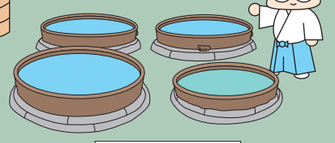
◆鹽竈神社（しおがまじんじゃ）

◇御祭神：別宮・鹽土老翁神（しおつちおぢのかみ）、左宮・武甕槌神（たけみかづちのかみ）、右宮・経津主神（ふつぬしのかみ）
◇御神徳：武運長久、塩業・漁業守護、安産守護、家内安全、延命長寿、交通安全　◇例祭日：７月１０日

古くは平安時代の『延喜式』に「鹽竈神」の記載がみられます。国司や有力武家らによる庇護を受け、江戸時代には仙台藩主・伊達家により厚い崇敬が寄せられました。現在の社殿は、宝永元（1704）年に竣工したもので、本殿・拝殿ほか計 14 棟、石鳥居１基、棟札 11 枚が国の重要文化財に指定されています。

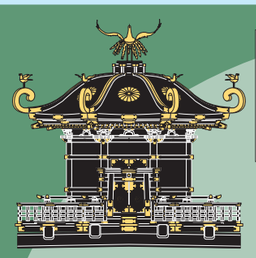
藻塩焼神事

毎年七月四日から六日にかけて御釜神社でとり行われる「藻塩焼神事」では、海藻を用いた塩づくりの神事が執り行われます。

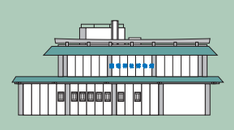


御釜神社の神釜

塩竈市本町にある御釜神社には、鹽土老翁神様が塩づくりにお使いになったという四口の「神釜」が奉安されています。



鹽竈神社御神輿

伊達家歴代藩主奉納太刀

博物館では、鹽竈神社の大神輿をはじめ、宝物や歴史資料を展示公開しています。ご参拝の折には、ぜひお立ち寄り下さい。